

## 広島県人は映画好き？

1952年版の『映画年鑑』によると、映画館への入場者数を都道府県別の人口で割った、一人当たりの入場回数の順位は次のようになっている。

|     |      |        |
|-----|------|--------|
| 1位  | 東京都  | 13.41回 |
| 2位  | 大阪府  | 9.43回  |
| 3位  | 京都府  | 9.21回  |
| 4位  | 兵庫県  | 7.79回  |
| 5位  | 静岡県  | 7.57回  |
| 6位  | 神奈川県 | 6.84回  |
| 7位  | 愛知県  | 5.32回  |
| 8位  | 長崎県  | 5.12回  |
| 9位  | 福岡県  | 4.96回  |
| 10位 | 広島県  | 4.80回  |

広島県は、かろうじて一人当たり入場回数の全国十傑の中に入っていて、全国平均が、4.92回なので、広島県は全国平均に近い数字となっている。広島県の月別の入場人員を見ると、1月が約118万人、8月が約93万人となっており、やはり、お正月とお盆が書入れ時だったことがわかる。

参考：『映画年鑑』

## 11月の上映スケジュール

|    |     |                                       |
|----|-----|---------------------------------------|
| 1  | 金   | 大島渚監督特集「青春残酷物語」                       |
| 2  | 土   | 大島渚監督特集「日本の夜と霧」                       |
| 3  | 日・祝 | 広島国際アニメーションフェスティバル入賞作品鑑賞会             |
| 4  | 月・休 | 大島渚監督特集「飼育」                           |
| 5  | 火   | 休 館 日                                 |
| 6  | 水   | 文化映画鑑賞会「近代文学シリーズ 島崎藤村」ほか              |
| 7  | 木   | 文化映画鑑賞会「近代文学シリーズ 島崎藤村」ほか              |
| 8  | 金   | 大島渚監督特集「絞死刑」                          |
| 9  | 土   | 大島渚監督特集「少年」                           |
| 10 | 日   | 大島渚監督特集「儀式」                           |
| 11 | 月   | 休 館 日                                 |
| 12 | 火   | 映画の上映はありません                           |
| 13 | 水   | 文化映画鑑賞会「縄文土器」「中国の陶磁」「小鹿田焼」            |
| 14 | 木   | 文化映画鑑賞会「縄文土器」「中国の陶磁」「小鹿田焼」            |
| 15 | 金   | 大島渚監督特集「夏の妹」                          |
| 16 | 土   | 大田洋子文学資料展関連企画「流離の岸」                   |
| 17 | 日   | ファミリーシアター「超劇場版 ケロロ軍曹2 深海のプリンセスであります!」 |
| 18 | 月   | 休 館 日                                 |
| 19 | 火   | 映画の上映はありません                           |
| 20 | 水   | 文化映画鑑賞会「幻の錦」「よみがえる光琳屋敷」               |
| 21 | 木   | カレル・ゼマン特集「狂気のクロニクル」                   |
| 22 | 金   | カレル・ゼマン特集「シンドバッドの冒険」                  |
| 23 | 土・祝 | カレル・ゼマン特集「クラバート」                      |
| 24 | 日   | カレル・ゼマン特集「ホンジークとマジエンカ」                |
| 25 | 月   | 休 館 日                                 |
| 26 | 火   | 休 館 日                                 |
| 27 | 水   | 文化映画鑑賞会「日本のこころ 浮世絵」ほか                 |
| 28 | 木   | 大島渚監督特集「忍者武芸帳」                        |
| 29 | 金   | 大島渚監督特集「白星の通り魔」                       |
| 30 | 土   | 大島渚監督特集「新宿泥棒日記」                       |



## ■3 (日・祝) 文化の日のプログラム 入場無料

## ■2階 広島国際アニメーションフェスティバル入賞作品鑑賞会

今回は、国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA) が世界中で展開する「国際アニメーション・デー」の催しにあわせ、広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、ASIFA日本支部等の共催により、過去の大会の入賞作品から選りすぐりの作品をお楽しみいただきます。

①10:30～ ③15:00～ <6作品・64分>

ジ・アルバトロス (第7回大会 優秀賞)  
 イン・ディヴィドウ (第8回大会 国際審査委員特別賞)  
 ザ・タイトロープ・ウォーカー (第9回大会 優秀賞)  
 ザ・ハート・イズ・ア・メトロノーム (第12回大会 デビュー賞)  
 アップルパイ (第11回大会 優秀賞)  
 老人と海 (第8回大会 優秀賞)

②13:00～ <8作品・65分>

ザ・メモリーズ・オブ・ドッグズ (第11回大会 木下蓮三賞)  
 フラックス (第9回大会 国際審査委員特別賞)  
 スクリーン・プレイ (第5回大会 カテゴリーF (5～15分) 1位)  
 ドント・レット・イット・オール・アンラヴル (第12回大会 国際審査委員特別賞)  
 ベトン (第12回大会 優秀賞)  
 ザ・ハウス (第14回大会 コンペティション上映作品)  
 丘の農家 (第3回大会 ヒロシマ賞)  
 ネコを埋葬するネズミを見た (第14回大会 グランプリ)

## ■1階 太田川をみつめて

①11:00～ ③14:30～ <58分 カラー>

## 太田川放水路 第一部・第二部

1932 (昭和7) 年に始まり、戦争や原爆による中断を経て、1967 (昭和42) 年に完成を見た太田川改修工事。広島を水害から守るための一大プロジェクトの歩みを、カラー映像で記録した貴重な作品です。好評により再上映します。

主催／国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所、広島市映像文化ライブラリー

■文化映画鑑賞会 ①14:00～ ②18:00～  
鑑賞料／大人370円・シニア180円・こども180円

## ■6 (水)、7 (木) &lt;3本立て・80分&gt;

## 近代文学シリーズ

「島崎藤村」「芥川龍之介」「志賀直哉」

## ■13 (水)、14 (木) &lt;3本立て・76分&gt;

「縄文土器」「中国の陶磁」「小鹿田焼 (おんたやき)」

## ■20 (水) &lt;2本立て・78分&gt;

「幻の錦」「よみがえる光琳屋敷」

## ■27 (水) &lt;3本立て・71分&gt;

「日本のこころ 浮世絵」「広重」「にわ ～その思想と技術～」

## ひろしま図書館まつり 連携事業 ことども映画会 入場無料

## ■4 (月・休) ①11:00～ ②14:30～ &lt;3本立て・63分&gt;

「りゅうの目のなみだ」「大造じいさんとがん」

「化けくらべ」

## 広島市映像文化ライブラリー

〒730-0011 広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

バス：紙屋町(バスセンター)下車／市内電車：紙屋町西下車／アストラムライン：県庁前駅下車

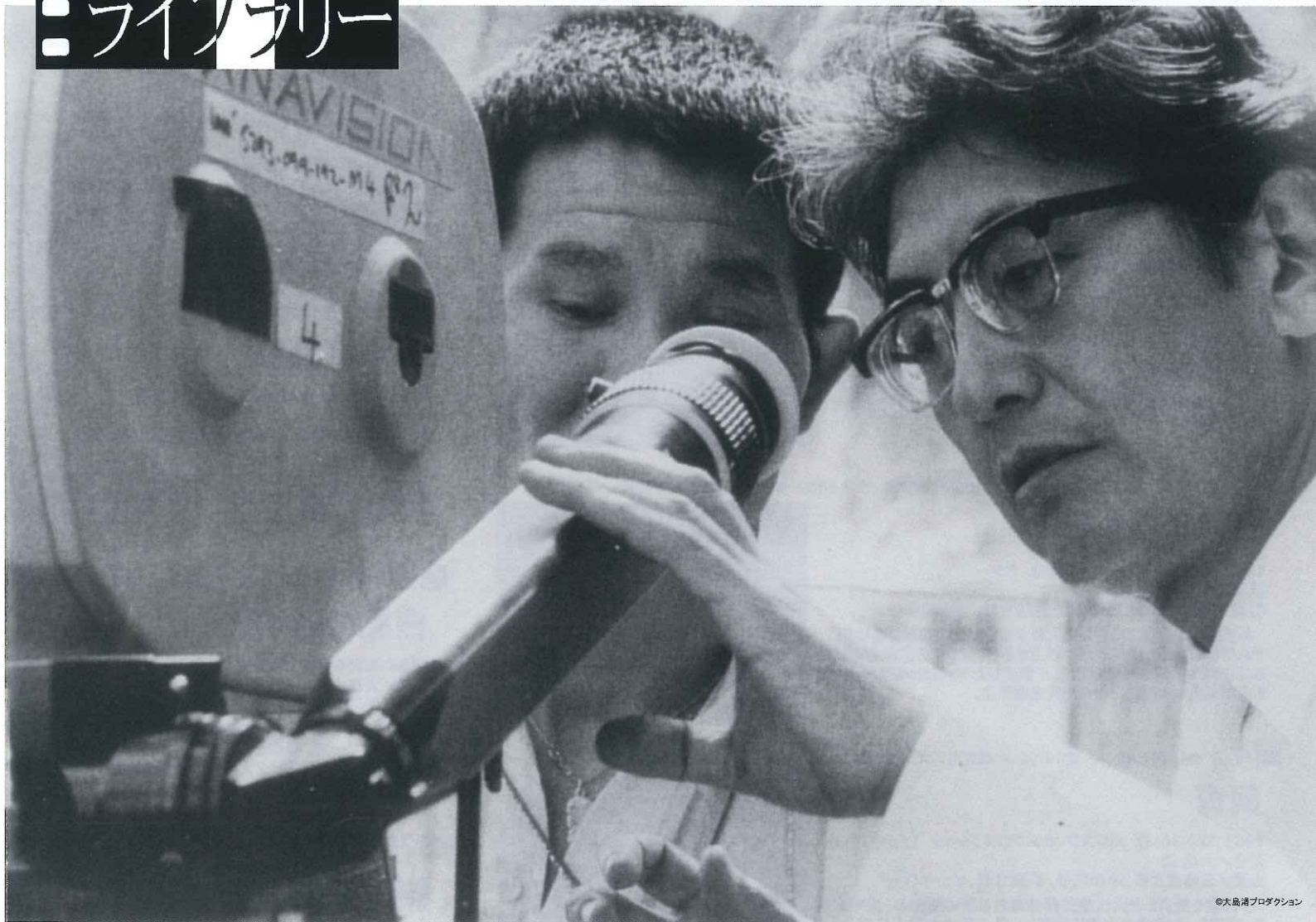
※紙屋町、バスセンター、県庁前駅より広島城方面、徒歩3分。「ひろしま美術館」西隣 ※駐車場はありません

開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで)

休 館 日：月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日

広島市  
映像文化  
ライブラリー

HIROSHIMA CITY CINEMATOGRAPHIC AND AUDIO-VISUAL LIBRARY

2013年11月  
大島渚監督特集

©大島渚プロダクション



ホンジークとマジエンカ



流離の岸



超劇場版 ケロロ軍曹2 深海のプリンセスであります!

## ■カレル・ゼマン特集

## ■大田洋子文学資料展関連企画「流離の岸」

## ■ファミリーシアター「超劇場版 ケロロ軍曹2 深海のプリンセスであります!」

## ■広島国際アニメーションフェスティバル入賞作品鑑賞会

## ■太田川をみつめて「太田川放水路 第一部・第二部」

## ■文化映画鑑賞会 ■ひろしま図書館まつり連携事業 ことども映画会

# 大島渚監督特集



今月は、今年の1月に亡くなられた大島渚監督の特集を開催します。大島監督は、1959年にデビューし、「青春残酷物語」「太陽の墓場」などの作品で、`松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」の旗手としてマスコミの注目を集めました。その後、松竹を退社して創造社を設立し、絶えず自らに変革を迫るような斬新な作品を世に送り出してきました。独自の世界を描く作品群への評価は高く、「絞死刑」がカンヌ国際映画祭に出品されて国際的にも注目を集め、「儀式」で『キネマ旬報』誌のベスト・ワンに輝き、「愛の亡霊」ではカンヌ国際映画祭で監督賞を受賞しました。今回の特集では、大島監督の1960年代から70年代初頭の作品を振り返ります。

※当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。  
※上映作品の紹介は、『キネマ旬報』増刊の『日本映画作品全集』等を参考にしています。

## 1 (金) ①10:30～ ②14:00～ ③18:30～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 青春残酷物語

1960 (昭和35) 年 松竹 96分 カラー  
監督／大島 渚  
出演／桑野みゆき、川津祐介、久我美子、渡辺文雄

大島渚監督の第2作。欲望に突き動かされるまま犯罪行為に走り、やがて破滅を迎える女子高生の真琴と大学生の清。2人の傷だらけの青春を鮮烈に描き、松竹ヌーヴェル・ヴァーグの台頭を告げた問題作。



## 2 (土) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども無料 日本の夜と霧

1960 (昭和35) 年 松竹 107分 カラー  
監督／大島 渚  
出演／桑野みゆき、津川雅彦、渡辺文雄、小山明子

ある結婚披露宴に出席した人々が激しい政治論争を繰り広げ、それぞれの過去と現在が浮かび上がる。1960年の安保闘争に揺れる当時の状況を色濃く反映し、緊迫したディスカッション・ドラマを全編長回しの連続で捉えた異色の作品。



## 4 (月・休) ①10:30～ ②14:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 飼育

1961 (昭和36) 年 バレスフィルムプロダクション 105分 白黒  
監督／大島 渚  
出演／三國連太郎、小山明子、戸浦六宏、ヒュー・ハード

芥川賞を受賞した大江健三郎の同名小説の映画化。太平洋戦争の末期、米軍機が山中に墜落し、黒人兵士が村人に捕らえられる。村に巻き起こる混乱を捕虜のせいにして収拾しようとする村人たちの姿に、戦時下の庶民の心の暗部を浮かび上がらせる。



## 8 (金) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 絞死刑

1968 (昭和43) 年 創造社、ATG 118分 白黒  
監督／大島 渚  
出演／佐藤 慶、渡辺文雄、小山明子、尹 隆道

実際の殺人事件に材をとり、もし死刑執行が失敗したらという意表を突く発想のもとに作られた作品。刑を再び執行するために死刑囚の記憶を呼び戻そうと四苦八苦する刑務官たち。ディスカッションを中心にした展開のなかで、死刑囚は自分自身を取り戻していく。



## 9 (土) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども無料 少年

1969 (昭和44) 年 創造社、ATG 97分 カラー  
監督／大島 渚  
出演／渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志

実際に起きた事件をもとにした、大島渚監督の代表作の一つ。酒ひたりの父親と気の強い母親、主人公の少年とその幼い弟、この4人家族が当たり屋を続けながら全国を旅する。シャープな映像が寡黙な少年の心情を浮き彫りにする。



## 10 (日) ①10:30～ ②14:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 儀式

1971 (昭和46) 年 創造社、ATG 122分 カラー  
監督／大島 渚  
出演／河原崎健三、賀来敦子、佐藤 慶、中村敦夫

地方の旧家・桜田家に、冠婚葬祭のたびごとに一族の人々が集まる。彼らの姿に、戦後の日本社会と自らの青春を投影して描いた、大島渚監督による戦後の総決算ともいえる作品。戸田重昌による様式的なセットや武満徹の音楽が独特の世界を作り出している。



## 15 (金) ①10:30～ ②14:00～ ③18:30～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 夏の妹

1972 (昭和47) 年 創造社、ATG 96分 カラー  
監督／大島 渚  
出演／栗田ひろみ、石橋正次、リリィ、小松方正

素直子は、兄だという大村鶴男から手紙を受け取り、父の婚約者である桃子と一緒に、鶴男に会うため夏休みに沖縄へ行く。しかし、鶴男は桃子のことを妹だと思っていた。返還直後の沖縄でロケを行い、本土と沖縄の微妙な関係を浮かび上がらせていく。フィルム提供／大島渚プロダクション



## 28 (木) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 忍者武芸帳

1967 (昭和42) 年 創造社 117分 白黒  
監督／大島 渚  
声の出演／山本 圭、小山明子、佐藤 慶、松本典子

戦国時代、野武士や農民を率いて城を攻める忍者・影丸。影丸とは何者か。彼の狙いは何か。60年代安保世代の若者が熱中した白土三平の劇画『忍者武芸帳』。その絵をそのまま使いながら、絶妙の編集と音響効果で構成した、大島流長篇フィルム劇画。



## 29 (金) ①10:30～ ②14:00～ ③18:30～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 白昼の通り魔

1966 (昭和41) 年 創造社 99分 白黒  
監督／大島 渚  
出演／川口小枝、小山明子、佐藤 慶、戸浦六宏

心中して生き残り、白昼の通り魔・英助に2度襲われても生き延びる女シノ。一方、英助と結婚しながら心を通わせることができない女性教師・マツ子。2人の女は、英助が暴行を繰り返すたび、心に深い傷を負っていく…。



## 30 (土) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども無料 新宿泥棒日記

1969 (昭和44) 年 創造社 96分 パートカラー  
監督／大島 渚  
出演／横尾忠則、横山リエ、田辺茂一、唐 十郎

書店の本を盗もうとした青年と、彼の犯行を社長につげる女性店員。2人の間には複雑な感情が生じ、唐十郎の歌や状況劇場の芝居に導かれ、当時、熱気を帯びていた新宿の街で、愛の迷宮をさまようことになる…。



# ファミリーシアター

## 17 (日) ①10:30～ ②14:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 超劇場版 ケロロ軍曹2 深海のプリンセスであります！

2007 (平成19) 年  
角川書店、角川映画、サンライズ、テレビ東京、NAS  
80分 カラー  
原作／吉崎観音 総監督／佐藤順一 監督／山口 晋  
声の出演／渡辺久美子、小椋エツ子、中田譲治、子安武人

遠い昔、地球にやって来た水の惑星マロン星人の子孫、メール王子と従者のマールは、プリンセスを迎えて王国を立て直そうとする。彼らが選んだのは、ケロロ軍曹が居候する日向家の長女、夏美だった。深海の王国にさらわれる夏美。ケロロたちの夏美救出大作戦が始まる…。



フィルム提供／KADOKAWA

# 大田洋子文学資料展関連企画

広島市立中央図書館で開催される「生誕110年没後50年 大田洋子文学資料展」の関連企画として、大田洋子原作の映画「流離の岸」を上映します。展示会とあわせてご鑑賞ください。

## 16 (土) ①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども無料 流離の岸

1956 (昭和31) 年 日活 101分 白黒  
監督／新藤兼人  
出演／北原三枝、乙羽信子、村瀬幸子、三國連太郎

大田洋子の同名小説の映画化。年頃になった千穂は、親友の兄・竜吉と結婚するが、竜吉には妻と子どもがいた。いつしか母と同じ道を歩もうとしていることに気づいた千穂は、竜吉と別れる決心をする…。

### 生誕110年没後50年 大田洋子文学資料展

期間／2013年11月9日 (土) ～12月8日 (日)  
会場／広島市立中央図書館 2階展示ホール  
広島市中区基町3-1 電話082-222-5542  
※開館時間、休館日などは中央図書館までお問い合わせください。



# カレル・ゼマン特集

主催／広島市映像文化ライブラリー 作品提供／アダンソニア、日本スカイウェイ

先月に引き続き、チェコ・アニメの巨匠カレル・ゼマンの特集を開催します。カレル・ゼマンはイジー・トルンカと並ぶチェコ・アニメーションの創始者であり、巨匠の1人です。幻想の魔術師と呼ばれるゼマンの不思議で奇想天外な作品の数々をぜひご鑑賞ください。



※上映作品の紹介は、作品提供先からの情報を基にしています。 ※当日の上映時間は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。

## 21 (木) ①14:00～ ②18:30～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 狂気のクロニクル Bláznova Kronika

1964年 チェコ 82分 白黒 監督／カレル・ゼマン

恋人と共に囚われの身となった農夫ピーターの運命を追いながら、戦争の愚かさを皮肉るアニメーションと実写の合成作品。シュールなアニメーション場面や重いテーマをユーモラスなまなざしで見つめながら、騒乱の時代を描いたゼマンの遊び心あふれる長編。



## 22 (金) ①14:00～ ②18:30～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 シンドバッドの冒険 Pohádky Tisíce a Jedné Noci

1974年 チェコ 94分 カラー 監督／カレル・ゼマン

船乗りのシンドバッドは、大海原を旅する途中で様々な驚きに出会う。彼は風変わりな味方や協力者に助けられ、勇敢に旅を続ける…。「アラビアンナイト」の主人公シンドバッドの冒険旅行を極彩色豊かな映像で描いた7本の短編からなる切り紙アニメーション。



## 23 (土・祝) ①10:30～ ②14:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 クラバート Čarodějův Učeň

1977年 チェコ 73分 カラー 監督／カレル・ゼマン

クラバートは、水車場の見習いになり、親方から魔法を習う。が、3年後、彼は自由と愛のために親方と対決することになる…。ドイツの伝説をもとにした児童文学の傑作を、抑えた色彩とダークなキャラクターで映像化した世界のアニメーション映画史に残るゼマン晩年の傑作。



## 24 (日) ①10:30～ ②14:00～ 鑑賞料／大人500円・シニア (65歳以上) 250円・こども250円 ホンジークとマジエンカ Pohádka o Honzíkovi a Mařence

1980年 チェコ 66分 カラー 監督／カレル・ゼマン

世界を旅するホンジークは、妖精のマジエンカに出会い恋に落ちるが、2人の愛を試す苦難が次々と襲いかかる…。切り紙アニメーションで描いた、ゼマン最後の長編作品。



映画鑑賞会は、上映開始30分後からの入場はおことわりします。